

パブリックコメント意見の要旨と市の考え方

- 案 件 第二次十日町市総合計画基本構想（案）
- 募集期間 平成27年 8 月11日～平成27年 9 月10日
- ご意見の件数（意見提出者数） 1 人
- ご意見に対する市の考え方

【提出者】 松代町商工会事務局長 齋藤一良 様	
ご意見	市の考え方
商工会では、3年～5年の経営発達支援計画を策定し国の認可をとり、その計画に基づき今後活動しなければなりません。そして、毎年その計画通り活動した結果を調査検証し、次年度の事業の見直しを行います。この発達支援計画を策定にあたり、市の総合計画の基本方針と合致していることが好ましいことは当然のことです。合わせて、商工会単位で策定することから地域ごとに独自性と地域特産の有効活用などを織り込んだもので策定するものと思われます。各商工会の事業目的がまだ確定していない中での意見を提出するのは、いささか恐縮ですが、どの商工会でも考えられるのが経済のグローバル化に伴う対策、地域外からの旅行者の消費増加策、地域内の小規模小売業等の持続化支援などが考えられます。つきましては、次の事項についてご一考願えればと思い、提言するものです。	
基本方針2 活力ある元気なまちづくり (1)怒涛の人の流れで活気あふれるまち 5項目目の記述に「<u>や地域資源の活用</u>」を追記いただきたい。 ■各地域の中心部の商業施設や案内機能などを充実させるとともに、市民のまちづくり活動との連携や<u>地域資源の活用</u>による新たな魅力を掘り起こし、地域のにぎわいの創出を図ります。 ※地域資源として考えられるのが、雪、地熱、温泉、トラフグ、棚田、方言や食文化等の活用を意味して	基本方針2に対するご意見については、ご指摘のとおりと考えますので追記します。
基本方針3 安全・安心なまちづくり (4)暮らしや経済活動を支える基盤の充実したまち 最後の行に次の一行を追記願いたい。 ■<u>市街化区域外の中小の事業者育成支援により社会的弱者への生活環境の保持存続の推進を図ります。</u> ※周辺地域の建設業や小売店の持続化支援は、生活道の確保策や買い物難民防止策などにつながることからご支援いただきたい。 (5)雪とともに生きるまち 3項目目の記述に「<u>親雪</u>」を追記願いたい。 ■雪を貴重な資源として捉え、雪エネルギーの利用促進や冬のイベントの充実を図るとともに、伝統行事等の雪国文化の継承・発信により、利雪<u>親雪</u>の取り	基本方針3の(4)についてのご意見は、周辺地域の中小事業者の支援が必要で、それは社会基盤の維持が伴うことで可能になるというご主旨と判断します。このことから、「基本方針3 安全・安心なまちづくり」ではなく、「基本方針2 活力ある元気なまちづくり」の「(5)住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまち」について、下記の記載に修正します。 ■過疎化が進む中山間地では…取り組みを促進しつつ、<u>中小事業者の経済活動に支障が無いよう</u>、実情に応じた生活環境の整備

組みを進めます。 ※降雪期のつらく、嫌な雪のイメージを払拭させる意図で雪を親しみ、楽しむ趣旨の取り組みを推進して子供たちや若者がこの地に住みたいと思えるような事業の推進をしてほしい。	を図ります。 また、(5)のご意見については、ご指摘のとおりと考えますので追記します。
---	---